

2023年9月20日
千葉大学医学部附属病院

<取材のご案内：9月27日に医師への説明会を開催> 妊娠を望みつつ病気治療中などで不安がある方への 「プレコンセプションケア外来」を行っています

千葉大学医学部附属病院（病院長 横手幸太郎 千葉市中央区亥鼻1-8-1）は、周産期母性科に本年1月より、「プレコンセプションケア外来」を開設し、相談対応を行っています。プレコンセプションケアとは、妊娠を望む女性やカップルに対し、妊娠に向けた健康づくりを促す取り組みのことです。

近年、プレコンセプションケア外来を開設する医療機関が増えている中、当院は、県内で唯一、対象を「病気治療中または病気や手術をした経験がある方、過去の妊娠で母児の経過が思わしくなかった方で、妊娠に不安がある方」としました。多数の診療科と連携して、大学病院ならではの専門性の高いカウンセリングを行っています。これまで県内にこうした外来がなかったため、周知が課題となっており、医師と連携して、患者さんや地域の医療機関への周知を図ろうと、9月27日から当院の各診療科の医師を対象に説明会を開始します。この機会に、ぜひ、ご取材ください。

<説明会の概要>

9月27日（水）13時15分～13時30分（当院 外来診療棟3階セミナー室3）
※受付は、13:00～となります

対象は「糖尿病・代謝・内分泌内科」の医師約20名（予定）です。

説明会終了後、ご取材に対応させていただきます。



「助産師さんがいると話しやすい」という声に応え、経験豊富な助産師も医師とともに対応

<これまでの対応事例>

- ・ 高血圧の治療をしていた方が、妊娠に適さない薬を飲んでいたので、薬剤変更を提案した
- ・ 腎動脈瘤の方に妊娠中の破裂リスクが高いことを伝え、妊娠前の治療について放射線科受診につなげた
- ・ 肥満の治療をしている方に、肥満による妊娠合併症のリスクを伝え、自身の生活習慣の見直しを促した
- ・ 当院婦人科が行う子宮体がん妊孕性温存療法を受ける方に、がんと妊娠に関するカウンセリングを行った

当外来では、妊娠を希望している女性をご自身の生活や健康・病気と向き合い、妊娠前から準備ができるようカウンセリングを行い、よりよい妊娠・出産・産後と生まれてくる赤ちゃんの健康を目指しています。



【周産期母性科 甲賀かをり科長】

現在病気治療中で「妊娠したら、病気も悪化するのかな」「病気の治療が子供にも影響するのかな」とお考えの方や、「以前、病気や手術をしたので、妊娠に影響はないか心配…」「前の妊娠が大変だったので、次の妊娠が不安」という方々が当外来を訪れ、不安を少しでも取り除いて、妊娠に向けてできることから始めていただけると嬉しいです。

<取材申し込み・お問い合わせ先>

千葉大学医学部附属病院 病院広報室 大嵩(おおだけ)・矢崎
Tel：043-226-2225 Fax：043-224-3830 E-mail：byoin-koho@chiba-u.jp

取材申込書

お手数ではございますが、当日の準備のため、下記に必要事項をご記入の上、
【9月26日（火）15時まで】にFAXもしくはメールにてお申込みください。
メールでお申込みの場合は、下記の事項を明記してください。

取材申込み連絡先

FAX番号：043-224-3830 メールアドレス：byoin-koho@chiba-u.jp

千葉大学病院 病院広報室 宛

貴社名 (媒体名)	
代表者	お名前
	連絡先
取材者人数	計 名 (内訳) ペン 名/スチール 名/ムービー 名

※ 院内に入る際は、必ず不織布マスクをご着用ください。

